

民児協すいた

第108号

吹田市民生・児童委員協議会



管外研修

主任児童委員制度
30周年

親子で
遊ぼう

全体研修

地域福祉市民フォーラム

あの地区、この地区

明石市民児協
との情報交換

新任紹介

民声

山手地区は阪急豊津駅の北東方向に広がり、60年ほど前に開発が始まったちょっと古いけど新しい住宅地域です。いわゆる「地の人」はおられないので、何代にもわたる繋がりが無く、そのことがいろいろな活動に影響していると思っています。

先日、地域の方に「民生児童委員です」と名乗ると『?』と返されたので、「民生委員です」というと納得されました。私たちは民生・児童委員って知られていると思いがちですが、まだまだやなど実感しています。

地区定例会では進行に工夫し、14人の委員同士がお互いの経験や考えていることを率直に出しあい、正解だけを求めるのではなく、共に考えていくことを大切に進めています。

山手地区 詫間 隆

関西大学児童文化研究サークル「あかとんぼ」による紙芝居と人形劇を初開催しました。

コロナ禍もあり約3年振りの「親子で遊ぼう」の活動。事前申し込み制で行い、当日は朝から雨が降りとても寒い日だったこともあり数組キャンセルもありましたが、2歳から小学3年生までの24家族計61人(当日参加の4組含む)が来場してくれました。

受付では、民生・児童委員の活動パネルを展示し、主任児童委員の活動案内や児童虐待防止PRグッズを配布しました。

あかとんぼさんの素晴らしい技術力で、小さな子どもたちも飽きることなく物語の世界観に一気に引き込まれていました。

劇中では妖怪役のお兄さん、お姉さんからの問いかけにみんなで返答する場面もあり、参加型の演出に会場は盛り上がりました。

気が付けばもう終わり・あっという間の楽しい時間でした。

「楽しかったよ!」の声もあり、久しぶりに子どもたちの元気な笑顔を見ることができた活動となりました。

様々な準備にご尽力いただいたみなさま、ありがとうございました。

岡田由紀子

紙芝居 人形劇



親子で遊ぼう

11/18日(土)

メイシアター 小ホール

2/3日(土)

千里山コミュニティセンター

親子体操 鬼のお面づくり 豆まき

体操が始まる前から、鬼が出て来るのでは?と警戒して、お母さんから離れない子もいましたが、体操が始まると、お父さんやお母さんと手を繋いだりおんぶされたりして皆楽しんでいました。

鬼の面作りでは、紙皿に思い思いに毛糸やシールで飾り付け、個性豊かなお面ができました。

最後にメインイベントの豆まきが始まり、鬼の登場とともに、子どもたちの歓声上がり、新聞紙を丸めた豆を鬼にぶつけて鬼退治をしました。

最初は、こわごわと豆を投げていた子もみんなと一緒に楽しそうに豆を鬼にぶつけていました。

お片づけをしている時に子どもたちへ何が一番楽しかったのかを聞いてみると「豆まき楽しかった!」「鬼に豆をぶつけたこと」「お面を作ったこと」「体操が一番楽しかった」などの答えが返ってきて、どのコーナーも楽しかったようです。取材をしていた私たちも一緒に体を動かし子どもたちのかわいい姿に癒されました。(増谷・武田)



令和5年度 管外研修

研修福祉部会

11月16日(木)22人にて北
淡震災記念公園へ見学に
行ってきました。

今回の見学先は、私自身
は2回目で、前回聞いた語
り部の方からは「うちの地
域では、地震で亡くなった

方はいなかった」という印
象的なお話でした。今回は
私たちが民生・児童委員と
いうことで、昔民生委員
だった方のお話でした。

当時フェリーに乗ってい
て海上で地震を体験したこ
とや、それまで淡路島で地
震を経験したことがなかつ
たので何が起きたかしばら

く理解できなかったこと、
時間が経って家屋の倒壊で
村民が小学校へ避難して来
たけどトイレが5つしかな
く、現在のようないくつか
はなかったのでもたたく間
に糞尿で溢れかえったこと、
当時民生委員は5人(男性
4人女性1人)だったので
配給品が届くまでの3日間
はとても大変だったそうで
す。



北淡震災記念公園にて

お話の後は、野島断層保
存館を見学し、倒壊しな
かった民家の中を見て震災
時を思い出しました。現在
では委員の数も増え、防災
に関してのイベントや講演
も行われています。

民生・児童委員として何
をすればいいのか、どうす
ればいいのか、考えさせら
れる管外研修になりました。

石黒 美幸

児童部会

11月24日(金)に児童部会
19人で管外研修会が実施さ
れました。

当日は良い天気恵まれ、
午前中に堺市総合防災セン
ターを施設見学しました。

この施設は昨年4月に
オープンした防災体験学習
施設で、敷地内には消防士

の訓練施設も併設されてお
り広い敷地の施設でした。
私たちの体験と見学は、

AとBの2つのグループに
分かれて「地震体験」「消
火体験」「煙・暗闇避難体
験」をさせていただきまし
た。

「地震体験」では事前に
映像を見て災害をイメージ
する機会があり、建物が倒
れての火災の発生場面や津



堺市総合防災センター入口にて

波の予想図なども放映され、
阪神淡路大震災や東日本大
震災の恐ろしさが甦ってき
ました。

自然災害のニュース時に
は危機感や不安感も増して
きますが、時が経つにつれ
意識が薄れてきます。

今回の研修は、いつ起こ
るかかわらない災害に備え
て命を守る行動をどうとる
のかを常日頃から準備して

おくことの重要性を再認識
させられる貴重な時間とな
りました。

今回の施設体験見学は、
いつ災害が起きてもパニッ
クにならず、知り得た知識
を冷静に活かせるような
日々の過ごし方を再確認さ
せられる一日となりました。

原田 春美

広報部会

11月30日(木)部員19人は私たちの生活を支えると共に災害(内・外水氾濫)を防ぐ重要な仕事を行っている吹田市下水道部による下水道の役割・内水ハザードマップ・降雨情報の見方・浸水対策などの座学を受けた後に施設見学をさせていただきました。



研修前座学を受けました

座学で印象に残ったのは下水の概念で「生活もしくは事業に起因、付随する排水で雨水も含まれる」とのこと。安威川や神崎川の大規模河川は長雨に弱く、長時間にわたって雨が連続と水位は上がり出しなかなか下がらない。他方山田川、正雀川、上の川などの小規模河川は集中豪雨に弱く短時間の強い雨で水位が急上昇する。またテレビなどでよく聞く「1時間の降水量が80mm

を超える猛烈な雨が予想」は内水氾濫の危険性が大きくなる。一方「降り始めから72時間の総雨量が500mmに達する見込み」は外水氾濫の危険性がある。内水氾濫は垂直避難が重要で家で高いところに居れば命は守られるとのこと。吹田市では内水氾濫対策として雨水レベルアップ整備事業片山・中の島工区を平成28年度より令和5年度末まで8年間という長期間の工事を進め完成に近づいている。これは50mmの大雨が1時間連続とした設定の基、下水管が満水にならないよう片山地区(中の島公園間、新に設置の高落差マンホールから雨水貯留管に既下水管を接続して新設のレベルアップ管に雨水を流し込み一時的に貯留する設備と



地下に巨大な構造物が...

この施設見学は千里山東公園の地下に設置されている上の川調節池にヘルメット・軍手を装着して安全確保のうえに入った。内部は換気扇が運転され酸欠や硫化水素による事故も未然に防止されていて安心して入れた。本施設は鉄筋コンクリート製で貯水量は9100m³、平成14年に完成。工事は一級河川(上の川)で大阪府が行い、稼働後に数回満水となりこの調節池の活躍が上の川の洪水被害抑制に寄与していることが伺えた。

(堀江・菱川)

本施設は鉄筋コンクリート製で貯水量は9100m³、平成14年に完成。工事は一級河川(上の川)で大阪府が行い、稼働後に数回満水となりこの調節池の活躍が上の川の洪水被害抑制に寄与していることが伺えた。

昼食後、市役所に帰り災害を予想して緊急態勢を行う危機管理室の風水害・日頃の備え・マイタイムラインの作成講義を受け研修を終了した。本研修に対応していただいた多くの市職員のみならず、そして茨木土木事務所府職員の方、有難うございました。

研修で得た知識は民生・児童委員活動に生かせるようにしたいと思います。重ねてお礼申し上げます。



上の川調節池の見学を終えて

地域福祉市民フォーラム

2月10日(土) 千里山コミュニティセンターにて

生活福祉室宮崎さんの開会のあいさつの後、「誰もが自分らしい生活を続けていけるように(権利擁護)支援する地域連携ネットワークの構築に向けて」のテーマで明石隆行さん(吹田市成年後見制度利用促進体制整備検討会議委員長)による基調講演が始まった。認知症の人が年々増加していくなか、気になる権利擁護制度には成年後見制度と日常生活自立支援事業等がある。後見制度には「任意後見」と「法定後見」がある。

- ・成年後見人制度の理念は
- ①自己決定の尊重
- ②身上保護の重視
- ③ノーマライゼーション

制度の利用を促進するためには「市民後見人制度の構築を定着させていく必要がある」と強調されていた。



後半の活動報告では、大阪よどがわ市民生活協同組合・馬場徳二郎さんから日ごろの配達を通じて気が付いた地域と住民の関わりを。

- ・いつき相談・介護支援センター
- ・いつきデイサービス

ス相談専門委員、二田有樹さんから総合的な支援で支

全体研修

2月23日(金) メイシアターにて

「コロナ禍からみえた地域福祉活動」と題し、ふくしと教育の実践研究所SOLAの新崎国広氏の講演があった。

解決の鍵は「温故知新」!

コロナ禍以降、オンラインでの動画配信など、新しい取り組みがなされている。なかでも、セルフネグレクト、孤立死、ひきこもり、児童虐待、子どもの貧困率

える当事者の生活について。吹田市社会福祉協議会CSWの夏目茜さんから多職種、多機関連携による権利擁護について、特にそれぞれの支援者が少しだけはみ出して支援していく、人と人をつなぐ隙間を埋めていく、これが重要だと。最後は吹田市社会福祉協議会櫻井和子会長の挨拶で閉会した。

(橋本・石井)

の増加、ヤングケアラー、いじめ、不登校など社会的孤立の問題が深刻化する中、令和2年の社会福祉法改正により「重層的支援体制整備事業」が創設された。

法律改正の大きな目的は、地域共生社会の実現にむけて、すべての人々が住み慣れた地域の中で笑顔になるために、多職種連携(縦割りをやめていくこと)や、専門職だけでなく地域の私たちと協働することである。

今、民生・児童委員、主任児童委員が発見した課題を専門職が迅速に対応する仕組みを少しずつ整えてきているとのこと。

民生・児童委員、主任児童委員の大切な役割としては、発見力・相談支援・情報提供・ハウレンソウ・見守り力などがあるが、ソーシャルアクション(解決は求めずに行政や社協に積極

的に意見具申すること)を心がけて欲しい。そのためにも日頃から行政やコミュニケーションソーシャルワーカーとの関係づくりが大切である。

また「お節介」とは「節度のある介(なかだち)」であり予防的支援になること。「話し上手・聴き上手」となり、困った時には決して一人で抱え込まず、リーダー、社協、行政に声をかけ、「助け上手・助けられ上手」になり、地域の笑顔をたくさん作って欲しいと締めくくられた。

(戸田・橋)



有意義だった明石市との情報交換会 (明石市民児協との情報交換会)

11月15日に明石市民生児童委員協議会(明石市民児協)との情報交換会を吹田市北千里地区公民館にて行いました。明石市民児協は、13地区民児協(385人)と主任児童委員部会(29人)の41人から構成されています。テーマは①委員活動の負担軽減に向けた取り組みについて、②民生・児童委員の担い手確保について、③地域における見守り活動について情報交換を行いました。

明石市では市長と民児協会長から委嘱された「民生・児童協力委員」が各地区で2人ずつボランティアとして民生・児童委員に協力して地域の福祉活動を行っています。また、主な状況確認(証明)事務の見直しで約十分の一の200件に減少されたとのことでした。敬老見守り訪問として9月に敬老金贈呈(77、88、100歳)を委託事業として行っ



ています。

当市からは担当世帯数の正、活動のマニュアル化、ホームページを利用した研修のオンライン化などICTによる負担軽減と認知度の向上で担い手確保に繋げる取り組みを説明しました。市から提供された高齢者名簿、民児協独自の「安心安全カード」をもとに安否確



定例会は41人大集合

山二地区民生・児童委員協議会は(山二・南山田・東山田)からなる協議会です。各地区の特徴や取り組みを紹介します。

あの地区 ——この地区——

認などに活用し、行政サービスの「救急医療情報キット」など、子育て世代の見守りとして「子ども家庭訪問事業」に協力していることも紹介しました。

地域によって取り組み方は多少異なる点もありますが、今後の活動に活かしていける有意義な情報交換会であったと思います。

木田 正章

山二地区

地区の自治組織は千里丘連合町会と言います。町会と各組織団体とは非常につながりが強い地区です。

特に山二地区防災対策委員会は、連合町会を軸に民生・児童委員会、福祉委員会、青少年対策委員会、体育振興会などの諸団体で構成されています。避難訓練では、災害時要援護者名簿記載の方も参加し、民生・児童委員が率先して支援活動を進めています。

南山田地区

祭り、体育祭、敬老行事などの地区の行事は、民生・児童委員や福祉委員だけでなく各種団体が協力しあって実施しているのが特徴です。



長野西・長野・尺谷の3公園も仲良く隣接

青色防犯パトロールも防犯

東山田地区

委員やサポーターと教師・PTAでチームで行っています。この取り組みは、高く評価され、市・府・文科省からも表彰を受けました。

東山田地区は、万博記念公園が近くにあり、太陽の塔や日本一の大観覧車を眺めることができます。



東山田より万博記念公園を望む

高齢化率は吹田市とほぼ同じですが、築40年以上の集合住宅の高齢化率はかなり高く、一人暮らしの方も多く生活されています。このため民生・児童委員は、福祉委員と協力し、定期的に見守り訪問をしています。また、この課題について自治会と交流も始めました。防災については連合自治会、自主防災、民生・児童委員会で三団体準備会を立ち上げています。(後藤)

新任委員紹介



山一地区
辻本由紀子



豊津地区
黒田 史子



千一地区
濱口 克子



片山地区
坂本千奈美



吹三地区
葛野ひとみ

令和5年12月1日委嘱



吹六地区
大友加代子



豊津地区
原 美津代



豊津地区
馬場多佳子

令和6年4月1日委嘱



南千里Ⅱ地区
野上 洋乃



山一地区
福田 立子



藤白台地区
河内 吉人



南千里Ⅱ地区
木下 香奈



南千里Ⅱ地区
谷本さかえ



千一地区
池上 和良



吹三地区
澤井恵美子

令和6年能登半島地震を受け、民児協バザーの売上残金
546,944円を全国民生委員児童委員連合会 被災地民児協
支援募金に寄付しました。

被災された方々に心からお見舞い申し上げます。



編集後記

柔らかな春風に心華やぐ季節となりました。

民生・児童委員の活動も活発になり、他市との情報交換会、親子での触れ合いの場、全体研修などを企画実施し、各部会の管外研修では委員の交流を深めつつ楽しく勉強ができました。

全体研修では講師の方が「お節介」をして笑顔のあふれる地域作りが大切と言われた通り、帰りの電車で居合わせた赤ちゃん連れのお母さんにみんなで話しかけ、即実践してしまいました。

5月には、恒例の「夢のファミリーフェスタ」が開催されますので、どうぞご家族揃って出かけ下さい。民生・児童委員一同お待ちしております。
(武田)